

報告事項	2 (1) 水素ステーションの整備促進について
取組課題	
<p>燃料電池自動車（FCV）の普及には水素ステーションの先行整備が不可欠である。水素ステーションは、ガソリンスタンドに併設することが合理的であるが、都市部のガソリンスタンドは敷地に余裕がなく、また新設する場合には、土地の価格が高く事業の採算性が確保できない状況があることから、4 県市が連携して広域的な視点で計画的に整備を促進して行く必要がある。</p> <p>あわせて、水素ステーションの安全性等について4 県市が連携して普及啓発に取り組む必要がある。</p>	
実施状況	
<p>1 取組成果</p> <p>(1) 水素ステーション整備促進に向けた検討会議の開催</p> <p>4 県市及び関係民間事業者等で構成される「かながわ次世代自動車普及推進協議会」（以下、「協議会」という。）を意見交換の場として活用し、県内における水素ステーションの整備促進策についての検討を行った。</p> <p>実績：平成 25 年度 3 回／平成 26 年度 2 回</p> <p>(2) 水素ステーション整備促進計画</p> <p>水素ステーションの整備促進計画については、これまで協議会で協議を継続してきたが、平成 26 年 6 月に、国が「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を策定したことを勘案し、今後は水素エネルギーの普及に向けた取組の方向性を包括的に示す地域版のロードマップの策定を目指して協議することとし、水素ステーション整備の方向性もその中で示していく。</p> <p>【参考：現在の整備見込】</p> <p>（平成 25・26 年度経済産業省「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の交付決定状況）</p> <p>6 設備（定置式水素ステーション 3 設備 移動式水素ステーション 3 設備）</p> <p>(3) 普及啓発における連携</p> <p>FCV の試乗会や水素エネルギーに関する普及啓発活動を、4 県市で連携し、実施した。</p> <p>実績：平成 25 年度 1 回／平成 26 年度 8 回</p> <p>2 今後の課題</p> <p>九都県市首脳会議においても、普及啓発などの取組を進めていることから、そうした取組とも連動し、4 県市と関係事業者が更に連携を強化し水素社会の実現に向けた取組を進める必要がある</p>	

